

2021 年 4 月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答案は二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. **試験開始の合図後**、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					↑			7		9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の欄に**最大 1000 字程度**（グラフまたは図を用いる場合の文字数は含めない）で書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。

以 上

2021 年 4 月 大学院商学研究科
修士課程入学試験問題 専門科目

【設問 1】 経営専修 経営領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. あなたが差別化戦略を事業戦略として採用する単一の製品分野で事業を行う企業において、製品開発チームを率いるリーダーで、複数の部下を持つとしよう。企業の目標に沿って、彼らのモチベーションを向上させることを意図して、個々の部下に目標を設定することとした。どのような目標をどのように設定するか、目標設定理論(goal-setting theory)に基づいて重要な点を2つ述べよ。
2. 1で設定した目標であるが、部下の作業成果を見る限り、期待通りには機能していないようであった。そのありうる原因と理由を、公平理論(equity theory)に基づき説明せよ。
3. 1の企業は差別化戦略を事業戦略として採用しているが、それと対の事業戦略であるコストリーダーシップ戦略を同時に採用することを計画しているようだ。コストリーダーシップ戦略と差別化戦略をそれぞれ説明した上で、その両者を同時に採用することが困難だと言われる理由を説明せよ。

【設問 2】 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下の全ての設問に答えなさい。

(1) サービス・マーケティング：

製品との比較の観点から、サービスの特徴を5つ列挙しなさい。また、サービスを提供する企業が、各特徴にマーケティング戦略をどのように合わせる必要があるか説明し、その理由を述べなさい。

(2) 製品対応：

ホワイトスペース戦略を説明しなさい。

(3) ソーシャル・マーケティング：

CSR マーケティングの概念を説明しなさい。また、CSR マーケティングが企業の利益にどのような影響を与えるかを説明し、その理由を述べなさい。

【設問 3】 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

以下の全ての設問に答えなさい。

- (1) 比較優位と絶対優位の違いをリカードモデルの文脈で、「労働投入係数」、「〇〇費用」などの言葉を用いて説明しなさい。
- (2) ヘクシャー・オリーモデルと特殊要素モデルで、どちらが短期でどちらが長期のモデルになるのかを、経済学的な理由も含めて説明しなさい。
- (3) 交換経済の貿易モデルで自国と外国の消費者が、効用関数 $U(x, y) = xy$ という選好をもつときに、自国の消費財の初期賦存(initial endowments)が $e = (1, 3)$ 、外国のそれが $e^* = (3, 1)$ だったときに、貿易をする前のそれぞれの国での国内価格と、効用レベルを求めなさい。次に、自国と外国が互いに利益になるように貿易を行ったときの貿易の方向性（どの財をどちらの国から何個、もう一つの財の何個と交換するのか）を書き出し、貿易後の財のベクトルはどのようになっているかと、貿易するときの価格と、貿易後の効用レベルを計算して求めなさい。なお、 x は財 X の量、 y は財 Y の量をあらわしている。

【設問 4】 金融・保険専修 金融領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 株式Aの収益率は、期待収益率が6%、標準偏差が10%である。株式Bの収益率は、期待収益率が12%、標準偏差が20%である。今、株式Aと株式Bでポートフォリオを組むことを考え、資金の60%を株式Aに資金の40%を株式Bに投資するものとする。
 - (1) このポートフォリオの期待収益率は何%になるか。
 - (2) 株式Aの収益率と株式Bの収益率の相関係数が0.5の場合、このポートフォリオの収益率の標準偏差は何%になるか(小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めよ)。
 - (3) 株式Aの収益率と株式Bの収益率の相関係数が-0.5の場合、このポートフォリオの収益率の標準偏差は何%になるか(小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めよ)。
 - (4) 株式A、株式Bの収益率の標準偏差、(2)の答え、(3)の答えを比較して、それらの大

小関係についてわかることを述べよ。また、なぜそのような大小関係が生ずるのかを直感的に説明せよ。

2. 今、企業Xがある設備を購入するかどうかを考えている。この設備を現在購入するには 25 億円が必要だが、この設備は 1 年後に 10 億円、2 年後に 10 億円、3 年後に 10 億円のキャッシュフローを生み出す(設備の寿命は 3 年で寿命を終えると設備の価値はゼロになるものとする)。ただし割引率(1 年あたり)は 15%とする。

(1)この設備の純現在価値(NPV)は何億円か(小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位まで求めよ)。

(2)純現在価値法(NPV法)で、この設備を購入すべきかどうかを判断せよ。

(3)内部収益率法(IRR法)で判断した場合、この設備は購入すべきか。その理由も述べよ。

3. 企業が必要な資金を株式で調達するか、負債で調達するかという選択は、企業の資本構成の問題である。

(1)企業の資本構成に関する理論の「MMの第 1 命題」の内容と結論を「裁定取引」という用語を用いて説明せよ。

(2)法人税を考慮すると、MMの第 1 命題の結論はどう変わるかを説明せよ。

(3)法人税に加えて、倒産コストを考慮した場合には、MMの第 1 命題の結論はどう変わるかを「最適資本構成」という用語を用いて説明せよ。

【設問 5】 金融・保険専修 保険領域

以下の全ての設問に答えなさい。

商業制度としての保険の特徴が分かるように、以下について、それぞれ共通点と相違点を説明しなさい。

- ①貯蓄と保険
- ②賭博と保険
- ③共済と保険
- ④社会保障と保険

【設問 6】 会計専修 財務会計領域

以下の全ての設問に答えなさい。

- (1) 経済社会における会計の存在意義について、説明しなさい。
- (2) 日本において、日本企業が財務諸表を作成する場合に採用することが認められている会計基準について、個別財務諸表と連結財務諸表とに分けて、示しなさい。
- (3) インセンティブ報酬のひとつであるストック・オプションについて、その権利付与日から権利確定日までの期間において行われる会計処理方法(仕訳)を示したうえで、当該会計処理が行われる根拠を、説明しなさい。なお、当該期間において、ストック・オプションの失効は、なかったものとする。

【設問 7】 会計専修 管理会計領域

以下の 2 つの損益計算書は同じデータをもとに計算されている。この資料をもとに下記の設問に解答しなさい。

全部原価計算方式の損益計算書

(単位：千円)

	4 月	5 月	6 月
I. 売上高	18,000	24,000	24,000
II. 売上原価			
月初製品有高	0	(ウ)	3,000
当月製品製造原価	<u>20,000</u>	<u>15,000</u>	<u>18,000</u>
計	20,000	(エ)	21,000
月末製品有高	(ア) (イ)	3,000 (オ)	(カ) (キ)
売上総利益	6,000	4,000	5,250
III. 販売費・一般管理費	1,000	1,000	1,000
営業利益	5,000	3,000	4,250

直接原価計算方式の損益計算書

(単位：千円)

	4 月	5 月	6 月
I. 売上高	18,000	24,000	24,000
II. 変動売上原価	6,000	(ケ)	(セ)
(ク)	12,000	(コ)	(ソ)
III. 固定費：			
製造原価	10,000	(サ)	(タ)
販売費・一般管理費	1,000 11,000	1,000 (シ)	1,000 (チ)
営業利益	1,000	(ス)	(ツ)

(設問 1) 上記の (ア) ～ (ツ) に当てはまる数値および名称はなにか。なお、月初および月末に仕掛品はない。また、単位原価は毎月一定であるものとする。

(設問 2) 設問 1 の計算結果を参照しながら、利益計画の策定場面で、直接原価計算の適用が有用とされる理由を解説しなさい。

(設問 3) 直接原価計算の適用を前提として、損益分岐点分析における目標利益を達成するための売上高の算定式を示しなさい。

(設問 4) 売価の引き上げおよび販売数量の増大が見込めないと仮定した場合、損益分岐点を引き下げるために検討される施策を、具体的な事例を交えて解説しなさい。

〔設問 8〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 財 x と財 y を消費する消費者の効用関数が以下で表されるとする。

$$u = xy$$

所得が m 、財 x と財 y の価格がそれぞれ p_x と p_y で表されるととき、以下の問に答えよ。

- (1) この消費者の需要関数を求めよ。
- (2) $p_x = p_y = 2$ 、 $m = 20$ とする。各財の需要量と効用水準を求めよ。
- (3) p_x が4に上昇したときの効果について、図を用いて説明せよ。代替効果と所得効果の大きさについて、数値を明示せよ。

2. ある企業の生産関数が以下のように表されるとする。

$$q = x^{\frac{2}{3}}y^{\frac{1}{3}}$$

ここで q は生産量、 x と y は投入物である。

- (1) x と y の要素価格をそれぞれ w_x と w_y とする。この企業の費用関数を求めよ。
- (2) w_x と w_y がともに 27 であるとする。生産水準が 10 であるときの総費用を求めよ。また、図を用いて x と y の最適投入量を示せ。

〔設問 9〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 経済全体の投入と生産の関係は以下のようなマクロ生産関数で表されるとする。ここで Y は生産、 K は資本、 L は労働である。

$$Y = K^{0.5}L^{0.5}$$

- (1) 上の生産関数において、資本の限界生産性が逓減することを示せ。
- (2) 上の生産関数を資本労働比率 $k = \frac{K}{L}$ の関数として示せ。
- (3) 資本投資と貯蓄の関係をを用いて資本の成長率 $\frac{\Delta K}{K}$ を導出せよ。貯蓄率は s とし、資本の減耗は考えないものとする。
- (4) 労働の成長率が $\frac{\Delta L}{L} = n$ であるとする。 $\frac{\Delta K}{K} = \frac{\Delta L}{L}$ となる資本労働比率を図で示せ。
2. Jカーブ効果について説明せよ。

—以上—



受験番号	
氏名	



1



受験番号	
氏名	

解答用紙

